

(別紙)

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の基本的事項（平成27年度）

基金の名称	畜産高度化支援リース基金
法人名	一般財団法人畜産環境整備機構
基金額（機構補助金等相当額）	37,393百万円（37,393百万円）（平成27年4月1日現在）
基金事業の概要及び目標	畜産経営における家畜排せつ物の利活用の推進及び環境整備、食肉や生乳流通の効率化・合理化に必要な施設等の導入をリース方式で支援することにより、我が国畜産の安定的発展を図る。
基金事業を終了する時期	設定していない。 堆肥保管施設整備リース事業は、平成26年度の新規貸し付け分の貸付金回収を平成43年度まで実施し、平成44年度中（45年3月末まで）に基金を閉鎖予定。
給付対象となる事務又は事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制	畜産高度化支援リース事業実施要綱及び同事業実施要領に基づき申請を受け付け、審査等を行う。

2. 見直し結果（平成27年度）

項目	講ずる措置		
実施した見直しの概要	「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令」の改正等を踏まえ、平成26年度に行われた「基金の再点検」の結果、本基金について、平成27年度に7,868百万円を独立行政法人農畜産業振興機構を通じて、国庫に納付。		
基金事業実施時期	平成22年度～		
収入・支出等 （平成26年度実績）	①期首残高	14,559百万円	
	②収入	貸付料償還収入	6,265百万円
		附加貸付料等収入	970百万円
		運用収入	9百万円
		合計	7,244百万円
	③支出	機構への返納額	3,368百万円
貸付物件取得費		3,247百万円	
管理費等		383百万円	
合計		6,998百万円	
	④期末残高（①+②-③）	14,805百万円	
交付決定等実績 （平成26年度実績）	交付決定等件数 281者 交付決定額等 1,777百万円 （貸付物件取得費のうち平成26年度貸付決定に係る検収分）		

<p>基金の保有割合</p> <p>基金の保有割合の算出</p>	<p>1.1</p> <p>(算出に用いた方式)</p> <p>保有割合 = (26年度末基金残高 + 26年度末貸付残高) ÷ 26年度末貸付残高 + 27年度貸付物件取得見込額 - 27年度回収見込額 + 27年度機構への返還見込額 + 27年度管理費見込額 - 28～45年度回収見込額※1 + 28～45年度返納額※2 + 28～46年度管理費見込額※3</p> <p>= (14,805百万円 + 22,588百万円) ÷ (22,588百万円 + 3,935百万円 - 6,125百万円 + 4,915百万円 + 363百万円 - 12,821百万円 + 16,638百万円 + 4,351百万円)</p> <p>(算出に用いた数値)</p> <p>26年度末基金残高 : 14,805百万円 26年度末貸付残高 : 22,588百万円 27年度貸付物件取得見込額 : 3,935百万円 27年度回収見込額 : 6,125百万円 27年度機構への返還見込額 : 4,915百万円 27年度管理費見込額 : 363百万円 28～45年度回収見込額※1 : 12,821百万円 28～45年度返納額※2 : 16,638百万円 28～46年度管理費見込額※3 : 4,351百万円</p> <p>※1 堆肥保管施設整備リース事業に係る28～45年度回収見込額 ※2 堆肥保管施設整備リース事業に係る28～45年度回収見込額のうち返納見込額 (12,355百万円) + 27年度回収額のうち28年度に返納する額 (4,303百万円) の合計額 ※3 3,229百万円 × 19年間 (28～46年度) = 4,351百万円 (堆肥保管施設整備リース事業の28～46年度に要する管理費見込額)</p>	
<p>使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果</p>	<p>使用見込みの低い基金等の該当の有無</p> <p>基準6 (1) の⑤に該当</p> <p>(使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果)</p> <p>①平成27年8月までに4,915百万円を機構に返納。 ②なお、国庫返納については、機構へ返還された平成26年度返還額、平成27年度返還額のうち7,868百万円を平成27年8月に国庫返納。</p>	<p>①・無</p>
<p>その他</p>		